

3月 2月 1月 12月 11月 10月 9月 8月 7月 6月 5月 4月

- 「福岡県自転車道の安全で適正な利用の促進に関する条例」を施行
- 新しい「福岡県消防学校」の供用を開始
- 「医療に関する外国語対応コールセンター」を開設
- 九州国立博物館が「夜間開館」を開始
- 「平成30年度伝統的工芸品月間国民会議全国大会」の福岡県開催が決定
- 電話通訳サービス
- 「ふくおかよかとこコールセンター」を開設
- 「福岡県オープンデータサイト」を開設
- 「筑後広域公園プール」屋外50メートルプールがオープン
- 九州北部豪雨発生、応急対応と被災地の復旧に全力で取り組む
- 『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」がユネスコの「世界文化遺産」に登録
- 「福岡県観光振興指針」を策定
- 「子ども支援オフィス(田川オフィス)」を開設
- ケニア共和国が2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を久留米市に決定
- 九州北部豪雨災害被災地の観光復興を支援するため、旅行商品の割引を行う「ふくおか応援割」の販売を開始
- 「介護応援宣言企業登録制度」を創設
- 観光プロモーション「「こ来福」しよう」を開始
- 「福岡県働き方改革推進大会」を初開催
- 全国和牛能力共進会で「博多和牛」を初出品
- 最高ランクの5等級に格付け
- 「介護と仕事の両立」休日街かど相談』を開始
- 医療型障がい児入所施設
- 「福岡県立粕屋新光園」が竣工
- 「福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を施行
- 小石原焼・福島善三氏が人間国宝に認定
- 天皇皇后両陛下が朝倉市を御訪問
- 天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ
- 「全国豊かな海づくり大会」を開催
- 本県ゆかりの歴史資料を含む「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの「世界の記憶」に登録
- ラグビーワールドカップ2019(TM)日本大会の試合日程が発表
- 「民生委員制度創設100周年記念大会」を開催
- 福岡ソフトバンクホークスが2年ぶりに日本一
- 「九州・山口70歳現役社会推進大会」福岡県大会」を開催
- ブルガリア柔道チームが2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を宗像市に決定
- オセアニア諸国が2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を柳川市、みやま市、みやこ町、築上町に決定
- 「福岡県・江蘇省友好提携25周年記念訪問団」を派遣
- 女子7人制ラグビーロシアチームが2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を宗像市に決定
- 「福岡県・デリー準州友好提携10周年記念訪問団」を派遣
- 「福岡地域発達障がい者支援センター」を開設
- タイ国政府が福岡県内への総領事館設置を発表
- 県営伊良原ダムが竣工
- 県営五ヶ山ダムが竣工



●福岡ソフトバンクホークスの優勝パレード



●「世界の記憶」に登録された黒田家文書



●天皇皇后両陛下が朝倉市を御訪問



●博多和牛



●ケニア共和国が2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を久留米市に決定



●九州国立博物館が「夜間開館」を開始



●新しい「福岡県消防学校」の供用を開始



●全国豊かな海づくり大会を開催

10月28日、29日、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ「第37回全国豊かな海づくり大会福岡大会」を宗像市で開催しました。本大会を福岡県で開催したのは初めてのことです。大会を通じ、本県が誇る水産業、水産物はもとより、歴史・伝統・文化など、本県のさまざまな魅力と元気の良さをアピールすることができました。



●「小石原焼」初の人間国宝認定

10月、東峰村の福島善三氏が「小石原焼」の技術で国の重要無形文化財保持者、いわゆる人間国宝に認定されました。本県における認定は、「献上博多織」の小川規三郎氏に次いで14年ぶりのことです。この認定は、7月の九州北部豪雨により被災した小石原焼の窯元をはじめ、関係の皆さんの復興に向けた明るいニュースとなりました。



●世界文化遺産登録!

7月、『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』のユネスコ世界文化遺産への登録が実現しました。5月、ユネスコの諮問機関であるイコモスは、推薦した8構成資産のうち4資産のみの登録を勧告しましたが、世界遺産委員会の委員国の理解を求める努力を続けた結果、全構成資産の登録がかない、本県2つ目の世界遺産が誕生しました。



●一日も早く元の生活を

7月に発生した九州北部豪雨により、朝倉市、東峰村を中心に甚大な被害が発生しました。県では、発災直後から、人命救助など応急対応と被災地の復旧に全力で取り組んできました。引き続き、被災者一人一人の生活再建や商工業者、農林漁業者の事業継続支援、道路、河川など公共土木施設の災害復旧に取り組んでいきます。